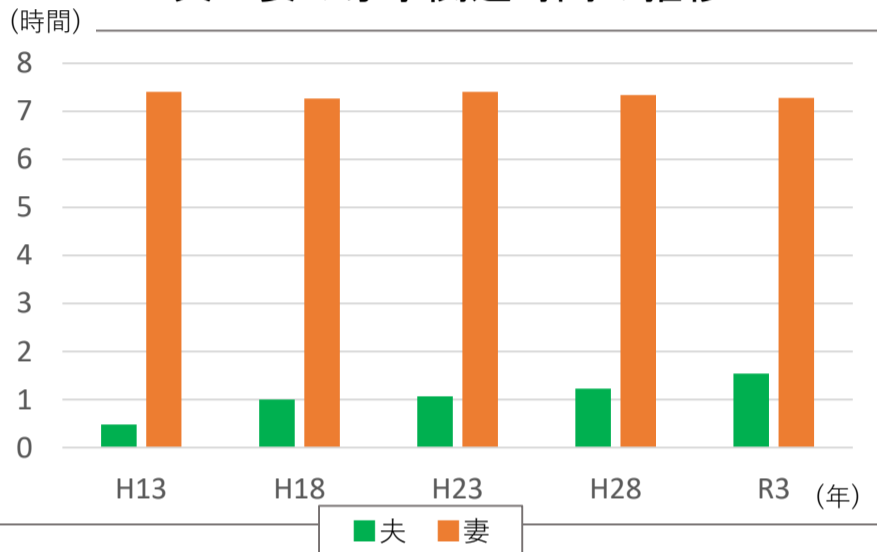


「共に」で変わる 暮らしと仕事の新しいカタチ

「手伝う」から、一緒に「つくる」へ

家事も仕事も、どちらか一方が無理をするのではなく、お互いの状況を分かち合い、共に担う。
それは単なる役割分担ではなく、大切な人と、そして職場の仲間と、最高のチームを作るためのプロセスです。

6歳未満の子どもを持つ 夫・妻の家事関連時間の推移



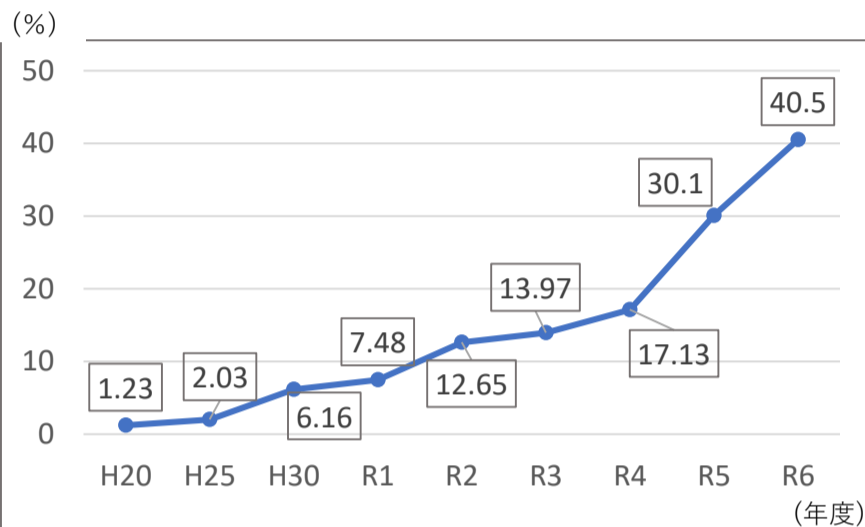
男性の家事時間が増えてきているようだけど…

まだまだ多くの家事を女性が担っているんだね



出典：令和3年社会生活基本調査結果（総務省統計局）

男性の育児休業取得率の推移



産後パパ育休などの制度も整備されて、より取得しやすくなってきているのかな？



出典：令和6年度育児休業取得率の調査結果（厚生労働省）

今日からできる「共に」の取り組み

仕事も、家事も、育児も。どちらか片方の肩に載せすぎない。
半分こにするのは、苦勞ではなく、人生を自由に描くための「時間」です。

「手伝う」から「自分事」へ

夫婦が本音で話せる魔法のシート

日々の家事や育児の項目を洗い出し、どのようにシェアし、お互いに支え合うのがよいのかを確認し合うためのコミュニケーションツールです。



内閣府 男女共同参画局



業務を「属人」から「チーム」へ

「お互い様」と言い合える雰囲気づくり

☆理由は何でもいい

育児や介護だけでなく、趣味やリフレッシュの休みも全部「お互い様」。

☆抱え込まない

ノウハウを分け合い、誰でも動ける体制を作ることには、仲間を守ることにつながります。

例えば…

- ・業務の見える化
- ・複数で業務を担当
- ・マニュアルの作成

など

